

平成30年度市民活動推進事業の
事業報告及び収支決算書

平成30年8月23日 13:30～15:30 8名参加
母子保健支援者向け心理・価値観セミナー

9月26日 18:30～21:00 10名参加
母乳育児ケアセミナー、症例検討会

10月27日 11:00～14:00 9名参加
ママの心の宝ものを探しに行こう ～産前産後ママパワーアップセミナー～
1回目（母子支援者および、妊産・産後育児期のかた対象）

10月28日 10:00～15:00 8名参加
ママの心の宝ものを探しに行こう ～産前産後ママパワーアップセミナー～
2回目（母子支援者および、妊産・産後育児期のかた対象）

11月17日 18:30～20:30 5名参加
母子ケアセミナー、症例検討会

12月2日 11:30～16:30 前半のみ参加者含む10名参加
BR会主催B病院院内会場第1回開催新生児蘇生法講習会

12月2日 18:30～21:00 12名参加
症例検討会

12月9日 12:30～18:00 12名参加
BR会主催A産院院内会場第1回開催新生児蘇生法講習会

平成31年1月20日 12名参加
BR会主催A産院院内会場第2回開催新生児蘇生法講習会

3月8日 18:30～21:00 6名参加
症例検討会

事業
成果

- 活動について「実際に母子への支援に必要となる内容を学べる機会がないため参加したい」と名古屋市内・北勢地区からの参加者が今年度になり増加した（毎回2～3名）。
- ケアセミナー、検討会、新生児蘇生法練習会・講習会の開催によって、以前から評価を貰っていた「明らかなケアの質向上」と合わせ、「何かケアについて疑問を感じたときも、相談ができる窓口ができた（それについての第一人者である医師などと繋がりを持つことができた）というフィードバックを貰い、「連携による安全・安心の向上」として効果を得られていると評価している。今後、具体的な指標として、アンケート調査などにより、具体的な効果の値を図り示したい。
- 妊婦・産後の母子を対象とした企画について、市内の感染症（麻疹、インフルエンザ）発生状況が参加人数に大きく影響した。今後、安心・安全を配慮した時期・企画内容の精査が必要であると考え。
- 新生児蘇生法は特にこれまで浸透していなかった部分へ大きく普及したと考える。練習会への参加者の影響により、市内の分娩の大部分を扱うA産院より当会へ依頼を貰い、院内を会場としてお借りし、普及のための講習会実施へと至った。
- 昨年まで一方方向の事業開催であったが、今年度、地域より「発達障害、発達支援について（当）団体で『実直に解決へ繋がる』学習の場を持ってないか？」と相談を数件いただいた。今後は地域から求められていることにも更に敏感にキャッチし、当団体ならではの柔軟性を活かして活動を推進していく方向性を検討する。
- 現在、地域の医療機関も協力・連携を貰うことが実現し、今後更に、母子の健康・心豊かな出産育児のために活動を推進していこうと考える。

※収支決算書は裏面

収 入			支 出		
項目及び内容	金 額	市費充当額	項目及び内容	金 額	市費充当額
	円	円		円	円
市交付金	200,000	200,000	報償費	327,000	161,000
自己資金等	96,030		賃借費	14,500	8,000
セミナー参加費	164,000		備品費	99,533	13,000
			消耗品費	14,849	14,000
			通信費	4,148	4,000
合 計	460,030	200,000	合 計	460,030	200,000